

# 牧羊ひろば



熊本真愛教会 教会学校

## ●はじめに

熊本真愛教会は、熊本市東区にあります。東区は、二〇一六年の熊本地震で震度7を記録した益城町、西原町に隣接しており、大変被害が大きかった場所です。本震に襲われた夜、筆者含む牧師一家は近くのショッピングセンターの駐車場に車で避難しました。揺れる車の中で、筆者はCSに来ていたうちの、小学6年の二人の子たちとLINEでやり取りしました。「こわい、神様、助けてください」と言うその子たちに、「大丈夫、神様は一緒にいる。神様を信じて神様と一緒に乗り越えるんだ!」と返信すると、「はい! アーメン」「アーメン」と二人から返信が来ました。涙を流しながらの生涯忘れられないやり取りです。そのうちの一人は、今年高校を卒業し、CSの教師になりました。私たちが取り組んできたことは、決して充分とは言えませ

ん。しかし、イエス様が愛されたように一人の子どもを心から愛する、ということを目指して取り組んできました。

## ●実際の取り組み・礼拝

現在のレギュラーメンバーは、幼稚科から中高校まで10名。イレギュラーで5〜6人増えることも。教師は11名。CS礼拝は、現在は午後1時半から行っています。幼稚科から中高校まで合同です。ゴスペルソングを元気に賛美して、賛美の中でみんなで挨拶タイム。奏楽が流れる間に、一人一人挨拶して握手をします。あなたと一緒に礼拝できることがうれしい、さあ一緒に神様を礼拝しよう! という意味を込めていて、みんなの心が神様に向く大切な時間です。そのあと、ゲーム、主の祈り、献金、今日のみ言葉暗唱タイム、メッセージです。メッセージだけ、ミニキッズ（小学3年まで）と、キッズ・ユース（小学4年〜中高生）の二つに分かれて行っています。年代に合わせたお話で恵まれるようにと願っています。現在、幼稚科さんが少しずつ増えているため、4歳くらいまでのミニミニキッズ向けメッセージも必要、と考えています。

礼拝が終わったら分級です。幼稚園、小学1〜3年4〜6年、中高科は中1〜高3まで一緒ですが、ボーイズとガールズに分かれています。幼稚園は、二歳未満の子が今は多いので、子どもを頑張つて連れてくるお母さんねぎらい、お話を聞く時間になることが多いです。小学生以上は、基本は牧羊者のワークをベースにメッセージの内容の確認や、心に残ったことの分かち合い。お祈りの課題のシェア。小学科は、時間が許される時は担当教師とカードゲーム等をして交わりを深めています。筆者は中高科のガールズを担当していますが、毎回、メッセージのメモを取っている子、メッセージ内容を絵にして見せてくれる子がいて楽しいです。よく聞いているなと感心します。感想を言うときは、教師が求めがちな正解を言う必要はないことを伝えていきます。子どもたちは正直な胸の内や葛藤や悩み、神様に示された気付きを話してくれます。最後は共に祈り、教師と生徒、良き交わりと信頼関係を築く場となるよう努めています。子どもたちにも祈ってもらいますが、「立派な言葉でお祈りをしようとしなくていい。長くなくていい。人に聞かせるんじゃないくて、素直に、神様に聞いてほしいことを



コロナ禍前のイースターまつりに集まった子どもたち（二〇一九）



### ●実際の取り組み・イベント

昨年で創立40周年。私共が赴任する以前から、牧師先生方や教師の皆さんはCSに力を注いで来られました。地域に種蒔きがなされてきたので、イベントには多くの子どもたちが参加してくれます。4月はイースターまつり。イースターを盛大に。最も動員数が多いイベントな

ので紹介しますが、一部は礼拝堂でゲームやイースターメッセージ、二部は教会の敷地内で、輪投げ（景品あり）、お菓子すくい、手作りパフェ、オリエンテーリングにガチャコーナー、ビンゴ等々、様々なコーナーを作り来場者に楽しんでもらいます。



クッキー作り（5月）

5月はサンクスデー・クッキー作り。6月はサンクスデー・プラ板キーホルダー作り。5、6月とも母の日、父の日イベントですが、片親の子も多いのでサンクスデーとしています。7月はサマーキャンプ。8月はアイスパークティー。教区ユースキャンプ。ユースメンバーは、キャンプでの賛美チームに加わって演奏の奉仕をしています。9月は振起日パフパーティー。11月は教会

プラ板工作（6月）



主催の餅つき会に、子どもたちを呼びます。12月はキッズ・クリスマスフェスタ。1月はすごく大会。3月進学進級祝いのバーベキュー。今後企画しているのは、生徒がCS教師の皆さんに感謝する時を持つ、昼食を作って先生方をおもてなししよう！ というもの。教師と生徒の愛の交わりが深まったらと願っています。



進学・進級式

## ●生徒から教師へ

ユースメンバーですが、毎年、礼拝は皆勤です。主の憐れみです。メンバーは極力日曜に活動のない部を選んだり、日曜に活動があるときは早朝礼拝か夕礼拝を必ず守ります。幼い時から、神様と個人的に深く関わり、救われ、神様の恵みを知ること。教会でのメンバー同士の交わり、牧師や教師たちとの交わりを深めて、教会が欠



ユースバンドによる賛美奉仕

かせない楽しい交わりの場になり、ここが自分の居場所と思ってもらうこと。できる範囲で様々な役割を担ってもらい、キリストのからだとして自分が教会に必要な存在だと気づいてもらうこと。中学に入ってから神様から離れることがないように、これらのことを切に祈り関わっています。月一回のファミリー礼拝では、ユースとユース担当の若い教師にバンド演奏、リードを任せてお



CS教師任命式

り、大変恵まれています。

熊本は、高校卒業後は県外に進学する子が多いところ  
です。しかし、帰省するたび教師としてCSに関わって  
くれていた大学生がおり、卒業後、熊本に戻り本格的に  
活動してくれています。また、祈りつつ熊本に残る決心  
をしたCS生徒たちが、今、一人、また一人と教師になっ  
てくれています。

冒頭に述べた生徒は、ノンクリスチャンの家庭で、親  
御さんの許可を得て受洗した子です。「CSの教師にな  
らない？ 祈って、神様からのオファーだと確信持てた  
ら、ぜひ」と筆者が声掛けをしたのですが、「やります」  
と即答で涙。来年卒業する子にも「熊本にいるならぜひ」  
と既に声掛けしたのですが、「え、もちろん」と言われ涙。  
10代〜60代の頼もしいCS教師たちと共に、新しい魂の  
獲得と、一人を愛することを、一層取り組んでいきたい  
と思います。

（金田ゆり）